『筑波応用言語学研究』17 号(2010. 12)
筑波大学 人文社会科学研究科 文芸・言語 応用言語学領域

「とか」による例示について

大和 啓子

キーワード：とか，例示，候補的並列，不確定性，対人配慮

1. 本稿の目的と扱う現象

日本語には，「たり」，「とか」，「なんか」，「でも」など，婉曲表現として用いられる様々な表現がある。

(1) この本，ちょっと貸していただけたりしますか。
(2) バイトのシフト，変更とかできますか。
(3) この案なんかどうですか。
(4) 時間があったらお茶でもしましょう。

これらは，何らかの要素を(実際にはその要素のみを問題としていたとしても)「例として一つとりあげたように見せる」ことのできる，例示表現である。例として示すということは，すなわち，例として明示されなかったものが他にあるという含みをもつことになり，いわゆるぼかしややわらげといった婉曲的な効果を持つと考えられる。これらの表現について，「ぼかしの「とか」の機能は，ぼかしを表すとりたて助詞としての「なんか」「など」に近く，置き換えても意味はほとんど変わらない(現代日本語研究会 2009：156)」という指摘もある。確かに重なる部分は多いものの，用例を詳細に観察すると，個々の形式によってその使用場面や文脈に差異があることが分かってくる。この差異を手がかりとして，例示という共通の特徴をもちながらも「どのように一例を示すか」という観点において，異なるタイプに分けることができると考える。

本稿では，婉曲表現のひとつ，「とか」が，(「A とか B とか」のような複数要素ではなく)ひとつの要素のみをとりあげて用いられる「A とか」のような単独形式に注目し，その様々な意味用法から，「とか」による例示とはどのようなものか，多くの場合に置き換えが可能な「なんか」との比較から，そのタイプを明らかにし，また，どのようなメカニズムによって婉曲表現として使われるのか，そして対人配慮とどう関わるかという点を明らかにする。

本稿で，特に注目するのは，(5)(6)のような，「とか」の用法である。

(5) 質問：母の日にプレゼントをあげたいんだけど，(中略)何かいい物ある～？

回答：エプロンとか。普段使ってくれると思うよ！オススメです。。。

(Yahoo!知恵袋／OC08_00115)[1]

(6) 「おれこのままだと取り返しのつかないことをやってしまいそうなんだよ」
「殺人とか？」 (書籍／OB6X_00205)

このように単独で用いられる「とか」は，なんらかの述語がつく場合には，「エプロンなんか｛どう？／いいと思う｝」のように「なんか」との置き換えが可能となる。しかし，(5)や(6)のように後ろに述語が続かない場合には，下降調イントネーション，上昇調イントネーションどちらの場合も「なんか」と置き換えることはできない。以上の理由で，後ろに述語が続かない(5)や(6)のような例は，述語の省略とはとらえないで，述語が続いた場合と別の用法であると考えることにする。管見の限りではあるが，このような「とか」の用法は，これまであまり考察されていないように思う。

まず従来言われている「とか」の用法について整理したうえで，さまざまな「とか」の用法について記述する。

2. 先行研究

2.1 並立的結合と例示

「とか」は名詞や述語を形式的に並立的に結合する助詞であり，ある集合について何かを言おうとして，そのメンバーのいくつかを例として取りあげるときに使われる(寺村1991)。

(7) 赤飯は，赤子の誕生とか，入学祝とか，結婚式とか，工事の完成とかのように，めでたいときに炊きます。 (寺村 1991:211)

(8) セールスの秘訣といっても，大したものではありません。聞き上手になるとか，足で稼ぐとか，人の３倍働くとか，そういう類のものです。 (書籍／LBs3_00048)

(7)では，「赤飯を炊くようなめでたいとき」という集合の共通メンバーとして，「赤子の誕生」，「入学祝い」などいくつかの例が並立的に示されている。(8)についても同様で，「セールスの秘訣」の例として「聞き上手になる」「足で稼ぐ」「人の３倍働く」が挙げられている。

寺村(1991)の指摘するこの例示用法は，並立的結合がなく「とか」が単独で用いられた場

[1] 本稿用例は，作例および，「現代日本語書き言葉均衡コーパス」モニター公開データ(2009 年度版)」の「書籍」および「Yahoo!知恵袋」データから採集。各用例にサンプル ID を示し，書籍に関しては稿末に出典を示す。

合にも同様に見られる。(9)では，「マニキュア」が「お洒落」という集合のメンバーとして例示されている。

(9)　娘も，マニキュアとかお洒落好きですよ　　(yahoo!知恵袋／OC10_00158)

2.2　候補的並列

「とか」は，引用部分につづいて用いられる場合もあり，「何かの候補を挙げる」という意味もあると森山(1995)は述べている。

(10)　そんなことありませんよ，とかなんとか言って　　(森山 1995:140)

森山(1995)では，(10)について「そんなことありませんよ」という引用内容が，直後の「とかなんとか」によって，表現の一候補にすぎないことが示されていると説明する。

(11)　先ほど，山内さんとか，山口さんとかいう方からお電話がありました。　　(作例)
(12)　たしかジュンとかいう名前だったな　　(書籍／PB49_00580)

森山(1995)に従うと(11)の場合も同様で，「山内さん」「山口さん」というのは，電話相手の名前の一候補として提示されている。また，(12)の「ジュン」も記憶を探りながら，思い出したものを一候補として提示しているといえる。

また，以下の(13)のように「とか」構造の内部に動詞述語をとる場合も，森山(1995)では，候補を挙げるという意味があるとしている。

(13)　行くとか来るとかしなければならない。
(14)　行ったり来たりしなければならない。　　(森山 1995:147)

並立的結合をするという点で共通である「たり」による(14)が，行く，来る両方の動きをするという意味になるのとは対照的に，(13)は並列した候補のいずれかを選ぶという意味に解釈されることから，「とか」は選択候補的並列を表すと述べている。

3.「とか」の単独用法と「なんか」との置換性

「A とか B とか」のように複数の要素の並立的結合をし，候補的並列を表す特徴を持つ「とか」だが，「A とか」のように一つの要素のみをとりあげる際に使われることも多くある。その場合，他の並列的要素を暗示する解釈ができる(「B とか」を付け加えることができる)場合もあれば，ほかの要素の存在は問題としていない解釈のもの(「B とか」をつけ加えることができないもの)もある。どちらの場合も，単独用法の「とか」は「なんか」と置

き換えられる場合が多い。

(15)　部長の机の前に，子供の写真｛とか／なんか｝(が)飾ってある。
(16)　これ｛とか／なんか｝どう？
(17)　湯上がりのビール｛とか／なんか｝最高だね！
(18)　ジェットコースター｛とか／なんか｝絶対，嫌！　(作例)

(15)では，3つの解釈が可能である。①並列的解釈，②典型例としての解釈，③周辺例としての解釈である。まず，「子供の写真」のほかに，「ペットの写真」など様々な写真が貼ってある部長の机の前の情景を単に描写している場合，並列的解釈が可能である(①)。それに対し，他の写真は問題とせず「子供の写真」それのみに注目している場合に，「とか」を用いた場合，2つの解釈が可能となる。いつも周囲の人に子供の話をしているような部長がいて，「部長の机の前には子供の写真が飾ってあっていかにも部長らしいね。」というのが，典型例の解釈である(②)。また，一方で，いつも部下を怒鳴り散らしている強面の部長が意外にも子煩悩であったことに驚いて「部長の机に子供の写真が飾ってあってほんと驚いた！」というような周辺例の解釈も可能である(③)。②③の解釈は，それに注目しているかどうかが問題となるため，机の前にたくさんの写真が貼ってある場合にも言うことができ，また，一枚の写真しか貼っていない場合でも同じように言うことができる。

要するに，本来，集団内の複数のメンバーを例示する用法を持つ「とか」「なんか」によって取りあげられる要素が当該の文脈において，会話に参加する当事者間にとって，前提とされる当然のこと，いかにもそうであることであることとしてとらえられれば典型例，前提にないような意外なこととして注目されれば周辺例と解釈される。このことは，「とか」「なんか」両者に共通する。

(16)～(18)では「お勧めのもの」，「最高のもの」，「嫌なもの」という「とか」のつく要素に対する話者の評価的態度が述語によって明示されている。このような場合にも，同じような文脈のなかで「なんか」に置き換え，ほぼ同じように言うことができる。

しかし，述語によって評価的な態度を明示しない場合，「とか」では問題なく言うことができるのに対し，「なんか」では置き換えることができなくなる。

(19)　A：今度の連休どこにいこうか？
　　B：うーん…あ，箱根｛とか／＊なんか｝！
　　Cf.あ，箱根なんかいいね！　(作例)

「とか」では(19)のように言うことができるのに対し，「なんか」を使うことができない。「箱根なんかいいね！」などのように評価的態度を明示する述語が伴えば，問題ないが，「箱根」という要素に対する話者の評価的態度を明示しない(19)のような形式では「なんか」

の使用は不適切となる。

「一候補を挙げる」という性質を持つ「とか」は，話者の評価的態度を述語などによって明示しないままに，要素を候補として提示することができる。

このようにみると，「とか」は，評価的態度を表す述語の有無に関係なく使用が可能であるかのように思えるが，ある種の評価的態度が明示される場合には「とか」が使えなくなる。以下のような場合，「なんか」は適切となるが，「とか」では不適切となる。

(20)　おまえなんか，さっさとどこかに消えちまえ。

(書籍／PB49_00203)

(21)　「ぼくなんか何百回もここに来たことがあるんだ」
　　と，スティーブが誇らしげに言った。　(書籍／PB39_0008)

相手を罵倒したり(20)，自慢をしたり(21)する場合，そこで取り上げられる要素，「あんた」，「ぼく」は，その他の要素を全く考慮することなく，まさにそのものである必要がある。森山(1995)で「とか」が，選択候補的並列を表すとされたように，「とか」によって表されるものは確定されていない「一候補」であって，不確定性を伴ってしまうため「まさにそのもの」を指し示す文脈にはそぐわないため，使用できなくなってしまうのである。

一方，評価的な態度が示される場合には「なんか」で発話を終わらせることができる。

(22)　「あんたの名前は…」
　　「いいでしょう，ぼくの名前なんか」　(書籍／OB2X_00207)

(23)　自殺するはずがないわ。まして，首吊り自殺なんか　(書籍／PB19_00288)

(22)のように文脈上すでに「いいでしょう(＝言う必要がないでしょう)」というような僕の名前に対する話者の評価が明示されている場合には「なんか」の後に述語が続かなくても適切な表現となる。さらに，相手が名前を尋ねていることに対する返答であり，名前そのものが問題とされる文脈では，(20)(21)と同様「とか」に言い換えることはできない。(23)も(22)と同様に適切となる。

ちなみに，述語が明示されない場合であっても，次の(24)，(25)のような場合，「とか」と「なんか」は置き換えることができる。

(24)　(付き合っている相手の話になった時に，)
　　「で，結婚とかは？」　(書籍／LBt3_00108)

(25)　(第四夫人を実家に送り返して離婚したという族長にむかって)
　　「で，慰謝料なんかは？」　(書籍／PB29_00699)

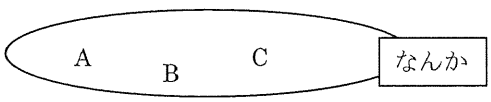
(24)(25)はどちらも互いに「なんか」「とか」の置き換えが可能である。(15)の「箱根とか」のような，単なる候補の提示ではなく，助詞「で」によって，前文脈を受けていることが明示され，「～は？」によって，要素(結婚，慰謝料)をトピックとして扱い，かつ問いかけをしているという話者の態度が明示されたことによって，なんかの使用も可能になっているのではないかと考えられる。

要するに，評価的な態度を明示することを必要とせず，候補を示すのが「とか」であり，評価的な態度が明示された際には，「なんか」に置き換えることができるといえる。では，一体なぜこのような違いが生じるのか，次節では，「とか」の例示のタイプについて，「なんか」の例示タイプの特徴からこの違いを考える。

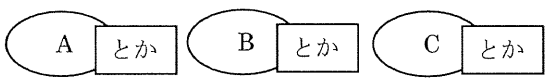
4. 「とか」による例示のタイプ

「とか」と置き換えることもできる「なんか」は，「これはいい(だめだ)」というような評価を伴うことが必要であることを前節で観察した。これは，そもそも「なんか」が何らかの評価を含んだ形で要素を提示する例示タイプであることによる。「なんか」はもともと，「{A,B,C...} なんか」というように複数要素の最後につくという性質から，単独の要素につく場合も，「何らかの観点から，要素を定義づけて一つのまとまりとして提示」しているためと考えられる。(大和 2010)。

(26) 「なんか」によって複数の要素をとりあげる場合



(27) 「とか」によって複数の要素をとりあげる場合



対する「とか」は，「一つの候補として例を試しに提示してみる」という示しかたをする。これは，本来「なんか」が複数の要素を一つのまとまりとしてまとめあげるのに対し(26)，「とか」はその並立的結合という性質(27)からいくらでも要素の追加を認められるということと関係する。さらに「候補的並列」(森山 1995)という性格上，「とか」のつくひとつひとつの要素は確定されたものではない不確定な候補という側面を持つ。ゆえに，「とか」は確定的なものを探るための候補として，思いつきの，任意の候補を挙げることができる。

ゆえに，何らかの評価を含む「なんか」には，具体的にどのような評価であるのかを示す必要が出てくると考えられるが，「とか」は，必ずしも評価的観点を明示することなく要素を提示することができると考えられる。

まとめると，「なんか」の例示が当該の要素について何らかの観点から「(そうではなくて)

こうだ」とあらためて定義して提示するタイプであるのに対して，「とか」の例示はとりあえず思いついたというように「こんなのもあるんだけど」と追加して提示するタイプであるといえるだろう。次節では，このような「とか」がそれぞれの文脈においてどのようにふるまっているか，用例を見ていく。

5. 述語を伴わない「とか」の単独用法

「とか」の単独用法は話し手の評価が加えられない単なる一候補を例示するという性質から，様々なふるまいを見せる。本節では，「なんか」とは置き換えられない「とか」の単独用法についてみる。

(28) A：今度の連休どこにいこうか？
B：うーん…箱根とか…。 (作例)

「とか」の引用用法について森山(1995)で，「表現内容の構成や叙述を適切にするための候補例」を挙げると述べられているが，ここでも，適切なものを見つけるための候補例が「とか」によって挙げられている。連休の旅行先をAとBの相談で決めるという状況のなかで，最適な旅行先を見つけるべく，とりあえず思いつくものを「候補として」挙げたことが「とか」によって示される。

また，このように「とか」で発話を一旦区切るということは，相手への働きかけを積極的にはしないということである 。「～とかどう？」「～とかだと思う」というように相手の判断を仰ぐでもなく，「～とかいいよね」など自分の意見を主張するでもなく，あくまでも候補的な一例を示すことで，他の候補の追加を妨げない形で提示される。

最適な候補を探索しその一例を挙げるということは，自分が知らない情報について，状況などから推測して適当だと思う候補を挙げるような場合にも行われる。

(29) 「あの子，かわいいね。何歳かなあ。」
「4歳とか？そのくらいかな」 (作例)

(29)は，子供の年齢を，その容姿から推測して4歳だろうと一応の候補をだしている。

以下のような例も同様に考えることができる。

(30) 「あと，部屋の前に車の通る道があるから，人によっては少し音が気になるかもしれないねえ…」
と言った
「車の音が気になるって，まさか環七の正面とか？」
ここにくる少し前に遊歩道が環七の下をくぐるトンネルのようになっているところ

を抜けてきたから，環七に面しているのだったらかなわないと思いそれを訊くと，不動産屋は環七ではないと言う。　(書籍/LBj9_00208)

(31)　「おれこのままだと取り返しのつかないことをやってしまいそうなんだよ」
「殺人とか？」　(=(6))

(30)では，この辺の部屋を探しているという状況で，不動産屋に「車の音が気になる」といわれて，「それはどこか。」と考える。そこで，車の音が気になりそうな道としての典型例である「環七」ではないかと候補をあげている。(31)では，「取り返しのつかないこと」の具体的内容を明らかにするべく，「殺人」という「取り返しのつかないこと」の典型的な候補を挙げる。

そして，これらの候補は，推測にもとづく不確定な候補として，知らない電話相手を「山内さんとか山口さんとかいう方」という場合と同様に，「とか」でマークしていると考えられる。このように「なにかの答えを当てる」べく，状況から推測して適当な候補を出そうとするようなときに「とか」が使われていることがわかる。

状況から推測して，適当な候補を挙げて，「答えを当てよう」とするのに対し，「とか」を用いて，ありえないであろう周辺例としての候補を挙げて，あえて「答えをはずそう」とすると，それは，皮肉や冗談にもなり得る。

(32)　(封印された戸を見て)
「なんで，開けちゃいけないの？」
ユイが好奇心まるだしで訊いた。
「開けると，死んでしまうからだ」
老人は幼稚な脅し文句を口にした。『お化けが出るよ』と言って，子供を遠ざけるようなものだ。
「まさか，戸に仕掛けがあって，開けると手に毒針が刺さるとか？」
ぼくが茶化すと，
「似たようなものだ」
幻斎は神妙にうなずいた。　(書籍／PB49_00207)

(32)では，宝の壺が入っているという封印してある戸を開けてはいけない理由として，「戸に仕掛けがあって，開けると手に毒針がささる」というような突拍子もないことを，「とか」を用いて言っている。この用例は小説から引用したものだが，「まさか～とか？」に続く文で「茶化す」とある通り，本気で戸に仕掛けがあるとは思っておらず，冗談として言われた言葉であることがわかる。

このように，「とか」は，積極的に働き掛けることなく，文脈上の最適と思われる候補を

挙げていくのに使われる。また，時にそれを利用した形で冗談などでも用いられうることを本節では述べた。

6. 候補例として示すことによる「とか」の対人配慮

以上のように，述語を伴わない「とか」は，候補的な例を示し，様々な文脈でそれぞれのふるまいを示すが，フェイス[2]への配慮がその使用動機となっている場合があると考えられる。

(33) 質問：母の日にプレゼントをあげたいんだけど，(中略)何かいい物ある～？
回答：エプロンとか。普段使ってくれると思うよ！オススメです。。。
(=(5))

(34) (2人しか入札者のいないオークションでライバルの動向が気になっている人に対し第三者からのコメント)
思い切って「直談判」してみるとか？ (Yahoo!知恵袋／OC14_00401)

(35) どうしたの，暗い顔して。もしかして，彼女に振られたとか？ (作例)

たとえば，以上のような勧めやアドバイスやセンシティブな話題への言及は，相手の踏み込まないでほしい，放っておいてほしいという欲求，ネガティブフェイス欲求を侵害する恐れがある。これに対し，述語を伴わない「とか」をもちいることで，直接明示的な働きかけを避けることができ，侵害の度合いを軽減することが可能となっていると考えられる。つまり，「とか」を用いることは，相手の自由な選択を妨げないというネガティブフェイスへの配慮ととらえることが可能であろう。

(36) 質問：母の日にプレゼントをあげたいんだけど，(中略)何かいい物ある～？
回答：エプロンとか。普段使ってくれると思うよ！オススメです。。。
(=(5))

回答者はエプロンがプレゼントとして「オススメです」としながらも，表現形式上は「エプロン」と言い切ることもなく，「エプロンとか」と「とか」を付して示している。こうすることで，エプロンは，あくまでも，一候補として示される。「エプロンがいいよ」「エプロンはどう？」などと言うよりも，相手のフェイス侵害は抑えられ，同時に，ほかの候補の存在も認める立場が暗に示されることで，相手のネガティブフェイスを補償することに

---

[2] Goffman(1967)で提唱された自己イメージとしてのフェイスという概念をBrown and Levinson(1987)はネガティブフェイス(negative face)とポジティブフェイス(positive face)という人間誰もが持つ2つの欲求として捉えなおした。ネガティブフェイスとは，自己の領域を邪魔されたくない，行動の自由を守りたいという欲求である。そしてこれらの欲求が，この人間誰もが持つという2種類のフェイス欲求への配慮が言語行動選択の普遍的な動機であるとされる。

つながるといえる。

このような「とか」の用法が，(37)のようなアドバイスにも用いられている。

(37) (2人しか入札者のいないオークションでライバルの動向が気になっている人に対し第三者からのコメント)
思い切って「直談判」してみるとか？ (=(34))

(37)では，「とか」で発話を終えることによって「直談判してみて／してみよう」などと相手へのアドバイスとしての直接的な働きかけをすることなく，「とか」を伴うことで，単にアイディアの一つとして提示している。単なる一候補として位置づけることによってアドバイスによる相手のフェイス侵害を軽減しているのである。

また，次のようなセンシティブな話題に言及をするときにも，「とか」を用いることがある。

(38) どうしたの，暗い顔して。もしかして，彼女に振られたとか？ (=(35))

センシティブな話題に関しては，言及する時点で，深刻なフェイス侵害行為(Face threatening act，FTA)になると考えられる。その話題について，「もしかして～とか？」という形を用いて，暗い顔をしている原因について「当ててみる」という方法によって，言及し，暗い顔をしている本人に直接確認を求めたり，また一方的に断言したりする(決めつける)などのさらなるフェイス侵害を回避していると言える。

このように，勧め，アドバイス，センシティブな話題への言及などのFTAを行うなかで，「とか」を使用することは，それぞれの文脈において，単なる一候補として示すことによって「押しつけない(踏み込まない)ことを主張する」ことになり，相手のフェイス配慮を行う一つの手段となり得ると説明できる。

7. まとめ

本稿では，まず，「とか」が単独で用いられる形式について注目し，「なんか」との比較から，その例示のタイプを明らかにした。「とか」による例示のタイプは，取りあげる要素を，不確定性をもち，選択的な候補として示す，追加タイプであった。次に，「なんか」とは置き換えることのできない，述語をともなわない「とか」の用例について記述した。述語を伴わない単独用法の「とか」は，その文脈において最適と思う候補を挙げることにより，「何かを当ててみる」という場合に使われたり，その形式を逆に利用することで，冗談としてもつかわれたりすることを記述した。最後に，フェイス侵害行為となるような場面で，「とか」を用いることで「押しつけない(踏み込まない)ことを主張する」ことによって，フェイスを補償する一方略となっていることを単独用法の「とか」の例から説明した。

冒頭であげた一見同じような働きをすると思われる婉曲表現も，各形式の様々な用例の観察から基本的な性質を細かくみていくことによって，それぞれの形式が婉曲用法となり得るメカニズムが明らかにできる。また，そうすることで，人々が日本語でコミュニケーションをはかる際，その形式を用いることでどのような配慮をしているのかということが明らかにできると考える。その一つとして，本稿では，「とか」という形式によって，押し付けない(踏み込まない)ことを主張することが，日本語のコミュニケーションにおける配慮の方略の一つであることを明らかにした。

【参考文献】

寺村秀夫(1991)『日本語のシンタクスと意味　第Ⅲ巻』くろしお出版

日本語記述文法研究会編(2009)「第 7 章ぼかしを表すとりたて助詞」『現代日本語文法 5 第 9 部とりたて 第 10 部主題』くろしお出版

森山卓郎(1995) 「並列述語構文考—「たり」「とか」「か」「なり」の意味・用法をめぐって—」『複文の研究(上)』仁田義雄編　くろしお出版

大和啓子(2010)「例示の助詞タリ・ナンカの語用論的効果」『表現研究』91，表現学会

Brown,P. & Levinson,S.C. (1987) *Politeness : Some Universals in Language Usage* Cambridge: Cambridge University Press

Goffman, E (1967) *Interaction Ritual: Essays on Face-to-Face Behavior*, Garolen City, NewYork : Anchor: Doubleday(広瀬英彦・安江孝司訳(1986)『儀礼としての相互行為－対面行動の社会学－』法政大学出版局)

【書籍データ出典】

OB6X_00205＝奥田英朗『空中ブランコ』文藝春秋 2004

LBs3_00048=三田誠広『団塊老人』新潮社 2004

PB49_00580＝安西水丸『夜の草を踏む』光文社 2004

PB49_00203＝さとうまきこ『ぼくの・ミステリーなぼく』ジャイブ 2004

PB39_0008＝トマス・ハーディ『水源の秘密ウェストポーリー探検記』論創社 2003

OB2X_00207＝安部公房『方舟さくら丸』新潮社 1984

PB19_00288＝山村美紗『京都茶道家元殺人事件』光文社 2001

LBt3_00108＝山本直人『話せぬ若手と聞けない上司』新潮社 2005

PB29_00699＝内山安雄『しょーこりもなく，またアジア。』 光文社　2002

LBj9_00208＝保坂和志『この人の閾』新潮社　1995

PB49_00207＝霧舎巧『カレイドスコープ島 《あかずの扉》研究会竹取島へ』 講談社 2004